

○荻原市長冒頭あいさつ

(4月23日(火) 野花南多目的研修センターにて)

皆さまこんばんは。こうして多くの皆様にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。今年度もこうしてまちづくり懇談会を開催させていただきましたが、皆様には日頃思われていることなどご意見等をいただき、芦別の課題さらには将来のまちづくりなどにつきましても一緒に考えていければと思っております。

今回は、今年度に市が取組みを進める主な事業とまちづくりの一環として取組みを進めている行財政改革の取組の状況について、そして、来年度から始まる新たな10か年のまちづくりの指針となる第6次総合計画の策定に向けた考え方についてご説明申し上げ、また、市政全般についても率直な意見交換をさせていただいて、市政運営の参考にさせていただきたいと考えております。

一昨日、4年に一度の統一地方選挙が行われたところであり、まもなく平成の時代が幕を下ろし、新たな令和の時代を迎えようとしています。このことにあたりまして、改めて市として市民の皆さんが健康で安全安心な生活を続けていただくこと、さらには、さらなる地域の活性化のために市職員が一丸となってしっかりと取り組んでいく、その決意を新たにしているところです。加えて、永遠のまちづくりの礎であります市民憲章にうたわれております、豊かで住みよい文化の輝くまちづくりを進めながら、次の世代にしっかりと引き継いでいけるように市民の皆さんと共に力を合わせて取り組んで参りたいと考えております。

今、芦別市は、人口の減少さらには少子高齢化の波が押し寄せております。特に人口減少においては、様々な対応策を講じておりますが、なかなか歯止めがかからないというのが現状であります。芦別市は、この恵まれた自然環境、さらには自然災害の少なさ、良質で豊富な食の産地、道内唯一の国民保健温泉地、これらを有するなど

恵まれた資源豊かなまちではありますが、課題も多くあるところです。

中でも人口減少が続く要因の一つに、若者の市外転出があります。これを防ぐうえで、雇用対策が重要でありますので、農林業をはじめとする地場産業の振興、さらには企業誘致など芦別市の特性を活かした内需をより高めて、より外貨を獲得するといった方策をさらに強化していくことが大切でありますし、結婚や子ども子育てに対する安心安全な環境の整備、これらについても推進していくことが大切であると考えております。

そういった考え方の他にもさまざまな地域課題あるいは要望等を含めまして、皆様からの忌憚のないご意見等をお寄せいただきまして、活発で有意義な懇談会となりますようご協力をお願い申し上げ、冒頭の挨拶とさせていただきます。